

香川  
附属書Ⅲ

平成27年度 香川大学・JICA四国・セカンドハンド共催  
香川大学「国際協力論」  
～ 香川から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名(仮題)	主な内容(予定)	担当講師(所属先)	
1	4月10日 (金)	ガイダンス、香川県の現況、青年海外協力隊について	この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、香川県の国際交流・国際協力活動の現況、またJICA青年海外協力隊について学ぶ。	香川大学、香川県国際課、JICA四国、四国NGOネットワーク	香川
2	4月17日 (金)	ワークショップ1	国際協力を学ぶためのワークショップ	新田恭子(公益社団法人セカンドハンド)	香川
3	4月24日 (金)	【香川発！国際協力団体】カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	新田恭子(公益社団法人セカンドハンド)	香川
4	5月8日 (金)	JICAが実施する国際協力及びカンボジア医師プレゼン	政府レベルで行う国際協力事業の取り組みなど、マクロな視点で国際協力の様々な取り組みを学ぶ。また、来日中のカンボジア医師よりカンボジア医療の現状を学ぶ。	JICA四国、カンボジア医師	香川
5	5月15日 (金)	【香川発！国際協力団体】ラオスでの支援活動	途上国は何故途上国なのか？それを踏まえ、支援の必要性、国際協力の在り方を、東南アジアのラオスから考える。	三谷雄治(NPO法人香川国際ボランティアセンター)	香川
6	5月22日 (金)	児童労働問題	児童労働の現状とそれに対する取り組みについて知る。	特定非営利活動法人ACE	東京
7	5月29日 (金)	世界の子どもの現状	ドキュメンタリー番組「世界がもし100人の村だったら」を鑑賞し、世界の中で過酷な状況に生きる子ども達について学ぶ。	正楽藍(香川大学)	香川
8	6月5日 (金)	難民問題と日本の対応	難民事業本部の活動について知り、参加型の学習で難民問題について考える。	中尾秀一(難民事業本部 関西支部)	兵庫
9	6月12日 (金)	国際協力の基礎講座及び国際社会論入門	日本社会の国際化の現状と課題について考える。	平篤志(香川大学)	香川
10	6月19日 (金)	【愛媛発！国際協力団体】カンボジアでの地雷撤去活動	元自衛隊員が住民と共に取り組んでいるカンボジアの不発弾処理、地雷撤去の活動について学び、NGOによる平和構築活動の意義について考える	高山良二(特定非営利活動法人国際地雷処理・地域復興支援の会)	愛媛
11	6月26日 (金)	ワークショップ2	国際協力を学ぶためのワークショップ	近森由記子、福士庸二(NPO法人TICO)	徳島
12	7月3日 (金)	【徳島発！国際協力団体】ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性和地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修(NPO法人TICO)	徳島
13	7月10日 (金)	国連機関・ユニセフの活動	世界が抱える社会的課題、およびそれに対するユニセフの活動について学ぶ。	大須賀智子(ユニセフ東京事務所)	東京
14	7月17日 (金)	国際協力団体で働く、学生として活動する	NGO職員として働くやりがい、海外での仕事経験を学ぶ。さらに、NGOの学生部で活躍する大学生より、活動してのやりがいや学びについて聞く。	苺坂美里(セカンドハンド・ユース)、川内衣梨絵(公益社団法人セカンドハンド)	香川
15	7月24日 (金)	「国際協力論」総括	多文化共生について考える。また、参加型の学習形式で世界とのつながりを知り、全講義を振り返り、国際協力について考える。	谷祐喜子(アイパル香川)、正楽藍(香川大学)	香川

徳島

平成27年度 徳島大学「国際協力論2ー四国から世界へ 輝く瞳のつくり方ー」(JICA四国・四国NGOネットワーク共催)

No.	月日	時間	題目	主な内容	担当講師(所属先)	
1	11/30(月)	16:20~17:50	イントロダクション・基礎講座	授業の概要、進め方などを説明した後、国際協力に関する基本的な考え方、用語などを概説する。	饗場和彦(徳島大学)	徳島
2	12/6(日)	10:25~11:55	異文化コミュニケーション	大洋州(太平洋の島国)から来日している研修生を招き、交流、意見交換を行う。現地の暮らしや社会を知ると同時に、コミュニケーション力(英語力)をつける。	パプアニューギニア研修員8名(鳴門教育大)	徳島
3	12/7(月)	16:20~17:50	アフガニスタンにおける平和構築の活動	和平後のアフガニスタンで兵士の武装解除などに取り組んだ女性外務省職員から、その意義や紛争現場の実態、難しさなどを聞く。	今井千尋(元外務省職員)	兵庫
4	12/14(月)	16:20~17:50	難民・避難民問題	難民・避難民が絶えない世界の実態、その苦境と支援のしかた、日本の受け入れに伴う問題などについて、専門家から聞く。	中尾秀一(難民事業本部関西支部)	兵庫
5	12/20(日)	12:50~17:50	カンボジアの貧困層に対する支援活動と、貧困問題を考えるワークショップ	リサイクルショップの運営で資金を集め、カンボジアで学校建設や医療支援、職業訓練支援などにあたる公益社団法人の活動を学ぶ。またフィリピンの「ゴミの山」で働く極貧少女の記録映像を見て、世界の貧富の格差の実態とその不合理、逆に豊かな先進国が失ったものなどについて討論する。	新田恭子ほか(公益社団法人セカンドハンド)	香川
6						
7						
8	12/21(月)	16:20~17:50	イラク戦争被害者への支援活動と安保法制がもたらす支援活動への影響	イラク戦争の被害者支援や文化交流に取り組んできた市民団体からその活動の意義と戦場の理不尽などを聞く。また9月に成立した安保法制が中東・アラブ世界ではどのように受け止められるか、考える。	相沢恭行(イラク支援・文化交流の会PEACE ON)	京都
9	1/7(木)	16:20~17:50	青年海外協力隊の活動	JICAの活動の一環として、日本の若者が青年海外協力隊に参加して発展途上国の現場でさまざまな支援活動に取り組んでいる。その体験談を聞く。	荒川千尋(エジプト・青少年活動) 高木雅義(ホンジュラス・理数科教師)	徳島
10	1/17(日)	10:25~16:05	アフリカ・ザンビアの貧困層に対する支援活動と世界の格差を考えるワークショップ	受講生参加型のワークショップ「貿易ゲーム」を行う。世界の格差、不正を実感する。	福士庸二、近森由記子(NPO法人TICO)	徳島
11			市民団体がザンビアで取り組む保健、医療、マイクロクレジットなどの支援活動聞き、アフリカの課題とあわせ魅力も知る。	吉田修(医師、NPO法人TICO)	徳島	
12			ミャンマーにおける村落開発の支援と最近の事情	ミャンマーの農村部に住み込み、その社会生活の改善にとりくんだ活動を聞き、あわせて民主化の激変の中にある最近の事情を知る。また、日本におけるNGOについて、体系的に学ぶ。	白幡利雄(NPO法人AMDA社会開発機構)	岡山
13	1/18(月)	16:20~17:50	JICA(国際協力機構)とODA(政府開発援助)	日本政府のODAを実施する機関としてJICAが行っている様々な活動を学び、ODAの意義と問題点を考える。	高橋政俊(JICA四国支部長)	香川
14	1/25(月)	16:20~17:50	国連とユニセフの活動	国連の概略とその一機関としてユニセフ(UNICEF:国連児童基金)が行う子供の命と権利を守る活動を知る。また国連職員のなり方も聞く。	勝間靖(元ユニセフ職員、現早稲田大学教授)	東京
15	2/1(月)	16:20~17:50	ソーシャルビジネスとBOP、CSR	洗剤などをつくる企業が途上国支援として行っている手洗い促進プロジェクトなどを聞き、民間企業による国際協力、社会貢献などの活動の意義、課題を考える。	小辻昌平(サラヤ株式会社)	大阪
16	2/8(月)	16:20~17:50	共有と総括、スタディツアー・留学のススメ	補足と総括	饗場和彦、徳大生ほか(徳島大学)	徳島